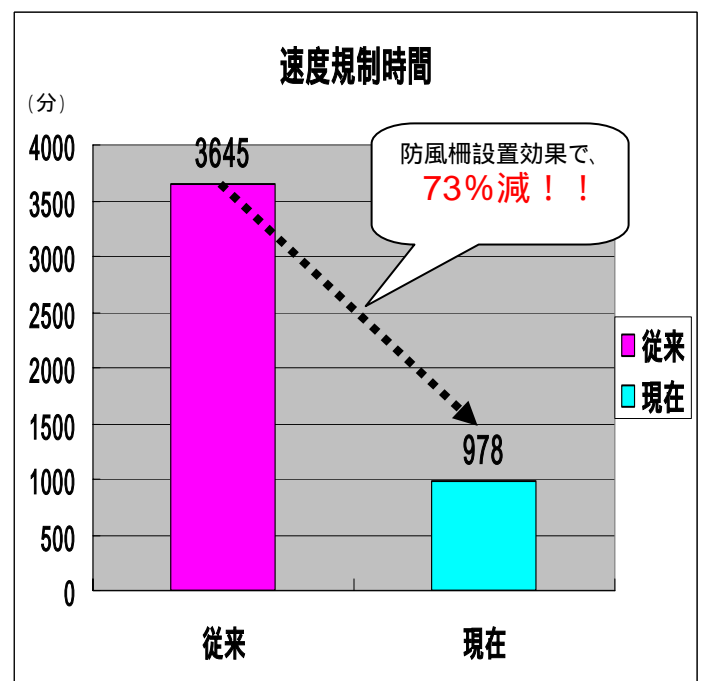
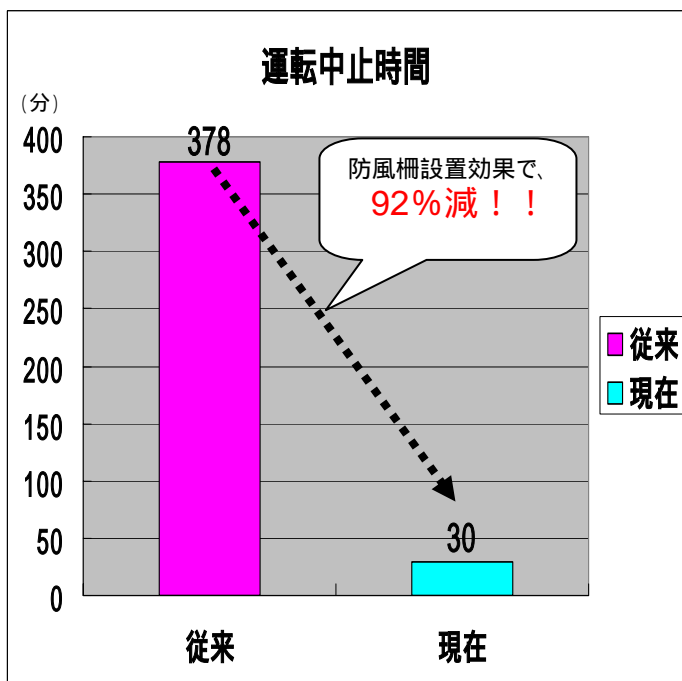


## 京葉線における防風柵設置後の効果！

JR東日本では、強風時の列車の安全性を確保するために、強風に対する運転規制を実施しています。京葉線では、強風による輸送障害を低減する為に2007年までに、6橋りょうに対して防風柵を設置しました。さらに、2010年度より潮見～葛西臨海公園駅間、二俣新町～南船橋駅間で防風柵設置の工事を行い、2012年10月31日から使用開始となりました。

防風柵設置の効果により運転見合わせ時間は、未設置であれば378分止まるところ30分と92%減少、また、速度規制(低速での運転)時間も、3645分のところ978分と73%減少しました。

防風柵を設置したことで、強風による運転見合わせが激減しました



データ集計(平成24年11月1日～平成25年4月末日)

## 防風柵の設置状況

### 【潮見～新木場駅間】

夢の島橋りょう防風柵

上り線 2012年 3月28日使用開始  
下り線 2012年 10月31日使用開始

### 【新木場～葛西臨海公園駅間】

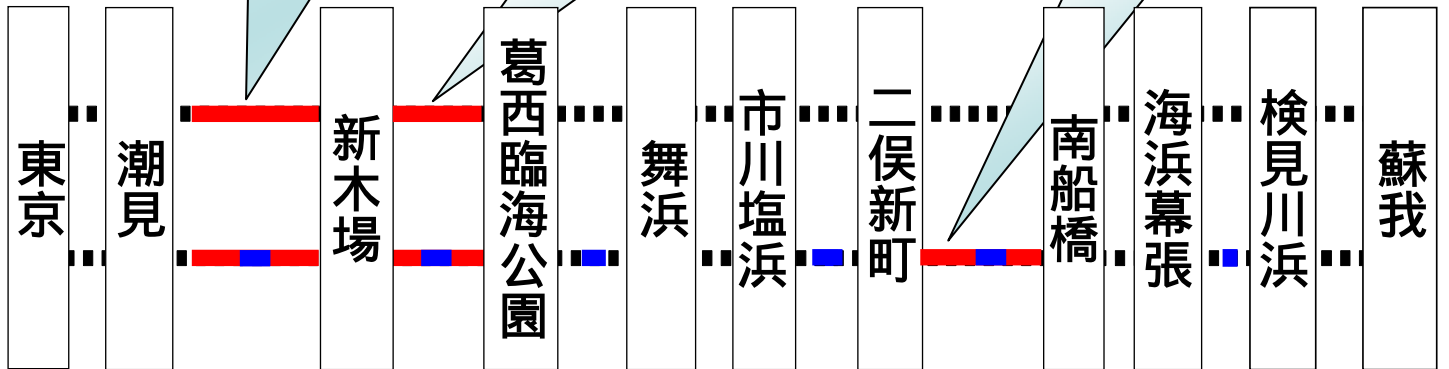
荒川放水路橋りょう防風柵

上り線 2012年 8月30日使用開始  
下り線 2012年 10月31日使用開始

### 【二俣新町～南船橋駅間】

海老川橋りょう防風柵

上り線 2012年 9月27日使用開始



■ 2012年度に防風柵を設置した区間（高架橋部・橋りょう部） ■ 2007年度までに防風柵を設置した区間（橋りょう部、6箇所）



潮見～葛西臨海公園駅間(高架部)



二俣新町～南船橋駅間(高架部)



潮見～新木場駅間(海側)



新木場～葛西臨海公園駅間(山側)